

[抄録様式]

<p>公益財団法人 8020 推進財団 平成 29 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>
<p>1. 事業名： ICT を活用した介護老人保健施設におけるミールラウンド及びカンファレンス支援システム構築事業</p>
<p>2. 申請者名：公益社団法人 山口県歯科医師会 会長 小山茂幸</p>
<p>3. 実施組織：公益社団法人 山口県歯科医師会</p>
<p>4. 事業の概要： 本事業では、介護老人保健施設においてミールラウンドを中心とした摂食嚥下リハビリテーションを行う際に動画で撮影を行い、その情報をクラウドで管理し歯科・介護施設間において情報共有を図る。 また、クラウドを通じて、摂食嚥下リハビリテーションに精通した歯科医師の助言・指導を受け、より質の高いミールラウンドを提供する。</p>
<p>5. 事業の内容： 介護老人保健施設におけるミールラウンドにおいて、入所者の食事の様子やその他の医療情報をデジタルで記録し、歯科と介護施設間の情報共有を円滑に行うためのシステム構築を行った。 デジタル情報は、タブレットで動画撮影を行ったり、入所者の食形態・器具・姿勢などを写真に記録し検討材料に用いた。</p>
<p>6. 実施後の評価（今後の課題）： ICT を活用して規格化した情報を使うことにより、より効率的な食支援における他職種連携の可能性を示唆できた。 また、ミールラウンドなどの食支援、摂食嚥下リハビリテーションにまだ経験の浅い歯科医師、歯科衛生士も、このシステムに参加することにより、経験豊富な先生の視点、アドバイスをリアルタイムで学ぶことができるため、教育ツールとしての活用も期待できる。 今後の課題としては、このシステムが、施設職員の入れ替わり等があったとしても、継続的に機能できるように、関係施設とのより一層の協力関係を築いていく必要がある。 また長期間運用を行ってみての術前、術後の比較をより多くのケースで行っていききたい。 現在は一部の協力施設との間でのみの使用となっているが、今後は、もっと多くの施設で、また多くの会員の間でもこのシステムが普及していくように、取り組んでいきたい。</p>